

《産地へのおたより》



生産者の皆様へ

6月30日

勤め先のデイサービスの庭ですくすく育っています。小さな田んぼを利用者のみなさんも楽しみに眺めています。

9月26日

出穂より45日目に 稲刈りをしました。幼穂の頃に肥料が必要だったのですね！油粕など何もあげていなかったなので、ちょっとスマートな稲でしたが春から秋までデイサービスの中庭で目を楽しませてくれました。

「稲刈りやりたい人！」の声に皆さん ハイ！と手を挙げてくださり一株ずつ 鎌を持って刈り取りをしました。端さ掛けをして 記念写真を撮りました。日頃、農作業など縁がない日常生活の中での小さな稲刈りの体験は「99歳で稲刈りをして 昔を思い出したなー」と 嬉しい言葉が聞かれました。

10月15日 米づくりを終えて

利用者みなさんとお米を土鍋で炊いてイクラを奮発しておやつに食べました。

5月の田植えからずっと 本当に穂が出てくるのか心配しましたが稲穂が出てきてから

「毎日あっ、ここにも穂がついているよ！」と苗に興味を持ち始め毎日苗を覗き込んでいます。「そうだ！ すずめに稲穂を食べられないように案山子を作ろう！」と案山子作りに取り組み稲より立派な案山子が出来上がりました。

稲穂がだんだん黄色くなり 頭を下げると、愛おしそうに稲を眺める様子が見られるようになりました。「もう刈り入れても大丈夫だ！」利用者さんの言葉で稲刈りを実施、はさがけまで大仕事でした。稲刈りが出来なかった 他の曜日の利用者さんの残念そうな顔！「あら 私稲刈りやりたかったのに！」

はさがけをしてからまもなく台風がやってきました。台風にやられないように、軒下に避難しながら「農家の人は台風の時にはどうしているのかしら？」と皆で心配しました。

脱穀までは順調でしたが もみすりは？・・・色々調べてゴルフボールでやってみました。

小さなすり鉢の中でゴロゴロすると少しずつもみを吹き飛ばし、玄米が顔を出して感動！玄米を他の職員が精米をしてきてくれて、たった1.5合のお米でしたが、「皆でおやつにしよう！」と土鍋を借りて炊きました。炊き立てのお米の香に大喜び。

早速、特別にイクラを買ってきてご飯に載せました。

1.5合のご飯を土曜日の利用者さん12名と職員7名で、少しずつ分け合って食べました。

「生協の1袋のお米を作ってみましょうよ」と持ってきた職員のお陰で6月から10月まで色々な意味で楽しませていただきました。ご飯を頂くのは簡単ですが、お米になるまでの農家のご苦労を改めて話し合うことが出来ました。

横須賀の小さなデイサービスの利用者様にお米づくりを体験していただくとう職場に持ち込んだのがきっかけで今までに見たことも無いような利用者様の生き生きとした姿を見る事が出来ました。

さすが昔取った杵柄！「うちの田舎ではこうやって居た。」「家はこうだった」など思いがけない活発な意見が飛び交い、とても良い体験の場作りとなりました。

若い職員も、昔から「米粒を無駄にすると目がつぶれる」と言われたものだよ。との言葉に「お米が出来るまでって本当に大変なんですね。」と身をもって体験できたことは大きな収穫でした。

チャレンジで出来たお米はたった1合半だけでしたが、「自分たちで体験して出来たお米は今までで1番美味しかった！！」「もっと沢山食べたいね！」と皆さんの感想でした。

農家の方々のご苦労のお陰で私たちが美味しいお米をいただけている事を、改めて感謝いたします。



利用者みなさんと作ったカカシ

まるなか米の出来るまで



本当に穂が出てきた



稲刈りなら任せて



稲を見たい



案山子も応援



はさがけが出来たよ

脱穀からお米になるまで

H23年10月15日



脱穀



こつこつ穂先の処理



精米の出来上がり



ゴルフボールとすり鉢でもみすり



炊けた炊けた！

バンザイ食べられるよ！！



H23年10月15日

まるなか米の完成試食会



やったー！うまそうだ



うん 美味しい！



土鍋が大活躍



1.5合のお米が取れました



今日は特別！イクラの載った炊き立ておやつ